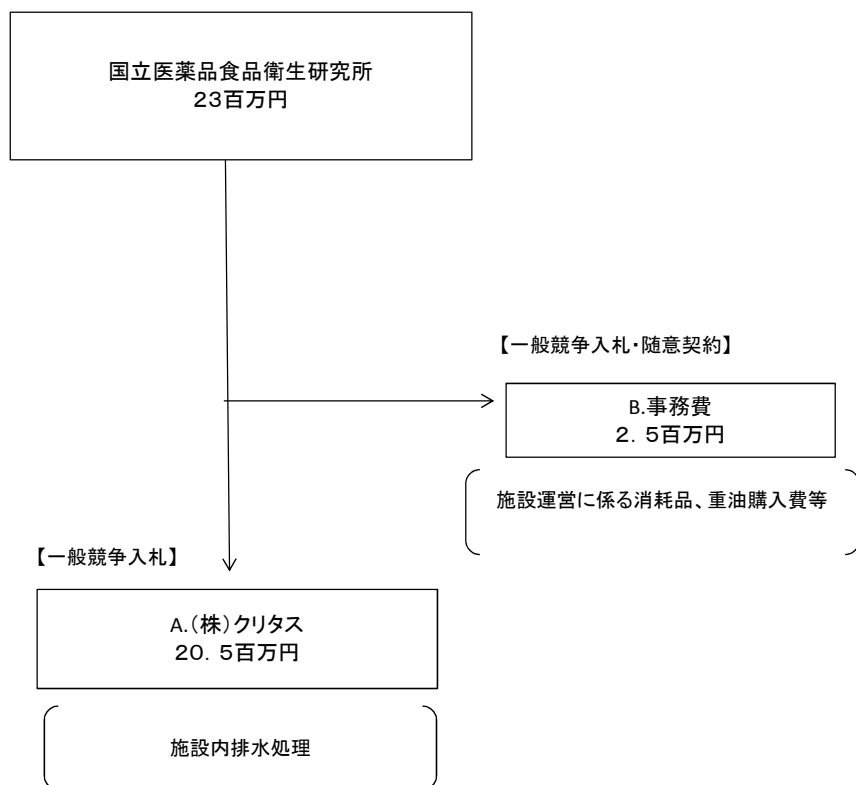


平成27年度行政事業レビューシート(厚生労働省)

事業名	国立医薬品食品衛生研究所施設管理事務経費			担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所			作成責任者
事業開始年度	昭和50年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	総務部 会計課			橋本 昌浩
会計区分	一般会計			政策・施策名	XI-1-1 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保すること			
根拠法令(具体的な条項も記載)	-			関係する計画、通知等	-			
主要政策・施策	医療分野の研究開発関連、科学技術・イノベーション			主要経費	文教及び科学振興			
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立医薬品食品衛生研究所は、国民の健康と生活環境を維持向上させるために必要な試験・研究・調査を行っており、これらを円滑に実施するために必要な施設の維持管理業務を行うことを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	医薬品・医療機器、食品、化学物質の品質、安全性及び有効性を評価するための試験・研究・調査を円滑に実施するため、動物庁舎における排水処理や水道設備の管理等の施設の維持管理業務を行う。							
実施方法	直接実施							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	24	23	23	23	23	
	執行額	24	23	23				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績(アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 27年度	
	円滑に研究・実験等を実施するために必要な施設の稼働率を100%にする。	水処理施設稼働率	成果実績	%	100	100	100	
		目標値	%	100	100	100	100	
		達成度	%	100%	100%	100%		
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標	単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	水処理施設稼働率	活動実績	%	100	100	100		
		当初見込み	%	100	100	100	100	
単位当たりコスト	算出根拠	単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込		
	執行額(千円)／水処理施設年間稼働日数	単位当たりコスト	千円	65	63	63	63	
		計算式	/	23,747/365	22,932/365	22,932/365	22,932/365	
平成27-28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由				
	庁費	23	23					
	計	23	23					

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	国民の健康と生活環境を維持向上させるために必要な試験等の実施に必要な施設の維持管理を行っており、国民のニーズが高く、国費の投入の必要がある。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	当所は国の試験研究機関であり、国が実施することが適当である。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	国民の健康と生活環境を維持向上させるために必要な試験等の実施に必要な施設の維持管理を行っており、優先度は高い。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	少額随意契約の対象金額を超える案件については、一般競争入札を実施し、競争性を確保した。また、随意契約の場合であっても複数者から見積を徴収し、最廉価格の者と契約を締結した。	
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	妥当なコストとなっている。	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-	-	
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	真に必要な経費のみ支出している。	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-	-	
事業の有効性	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	調達の際に競争性を保つことで、より効率的な予算の執行に努めている。	
	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	目標に見合ったものとなっている。	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		-	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	26年度の施設稼働率は100%であり、見込みに見合ったものとなっている。	
関連事業	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	施設を適切に維持管理したことにより、研究業務を円滑に実施できた。	
	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		○	本事業は、国立医薬品食品衛生研究所が実施する試験・研究・調査を円滑に実施するために必要な施設の維持管理業務を行うことを目的としている。一方、国立医薬品食品衛生研究所競争的研究事務経費は、同じく事務経費ではあるものの、国立医薬品食品衛生研究所の研究者に交付された競争的研究費について、経理事務や利益相反の適正な管理を研究機関が行うことにより、適正な執行及び公的研究である厚生労働科学研究等の公正性・信頼性を確保することを目的としている。従って、内容及び経費執行に重複はない。	
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
国立医薬品食品衛生研究所	870	国立医薬品食品衛生研究所競争的研究事務経費			
点検結果・改善	点検結果	執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。			
	改善の方向性	引き続き同様に管理し、経費の適切な執行に努める。			
外部有識者の所見					
点検対象外					
行政事業レビュー推進チームの所見					
現状通り	研究所の維持管理に必要な経費であるため、引き続き、必要な予算を確保し、適正な執行に努めること。				
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
現状通り	-				
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	582	平成23年度	530	平成24年度	469
平成25年度	853	平成26年度	853		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・用途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)	A.(株)クリタス			E.		
	費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
	雑役務費	排水処理・再利用・専用水道設備維持管理等業務に係る経費	20.5			
	計		20.5	計		0
	B.松田商店(株)			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
重油購入費	施設運営に係る重油購入費	1.2				
計		1.2	計		0	
C.			G.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	
D.			H.			
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)	
計		0	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)クリタス	排水処理・再利用・専用水道設備維持管理等業務に係る経費	20.5	1	99.4%

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)松田商店	施設運営に係る重油購入費	1.2	1	99.1%
2	関東油化(株)	施設運営に係る重油購入費	1.1	3	94.6%
3	(株)伊藤サプライ	施設運営に係る消耗品購入費	0.1	随意契約	-
4	東京ガス(株)	施設運営に係るガス使用料	0.1	随意契約	-
5	東京電力(株)渋谷支社	施設運営に係る電気使用料	0.1	随意契約	-
6	東京都水道局	施設運営に係る水道使用料	0.1	随意契約	-